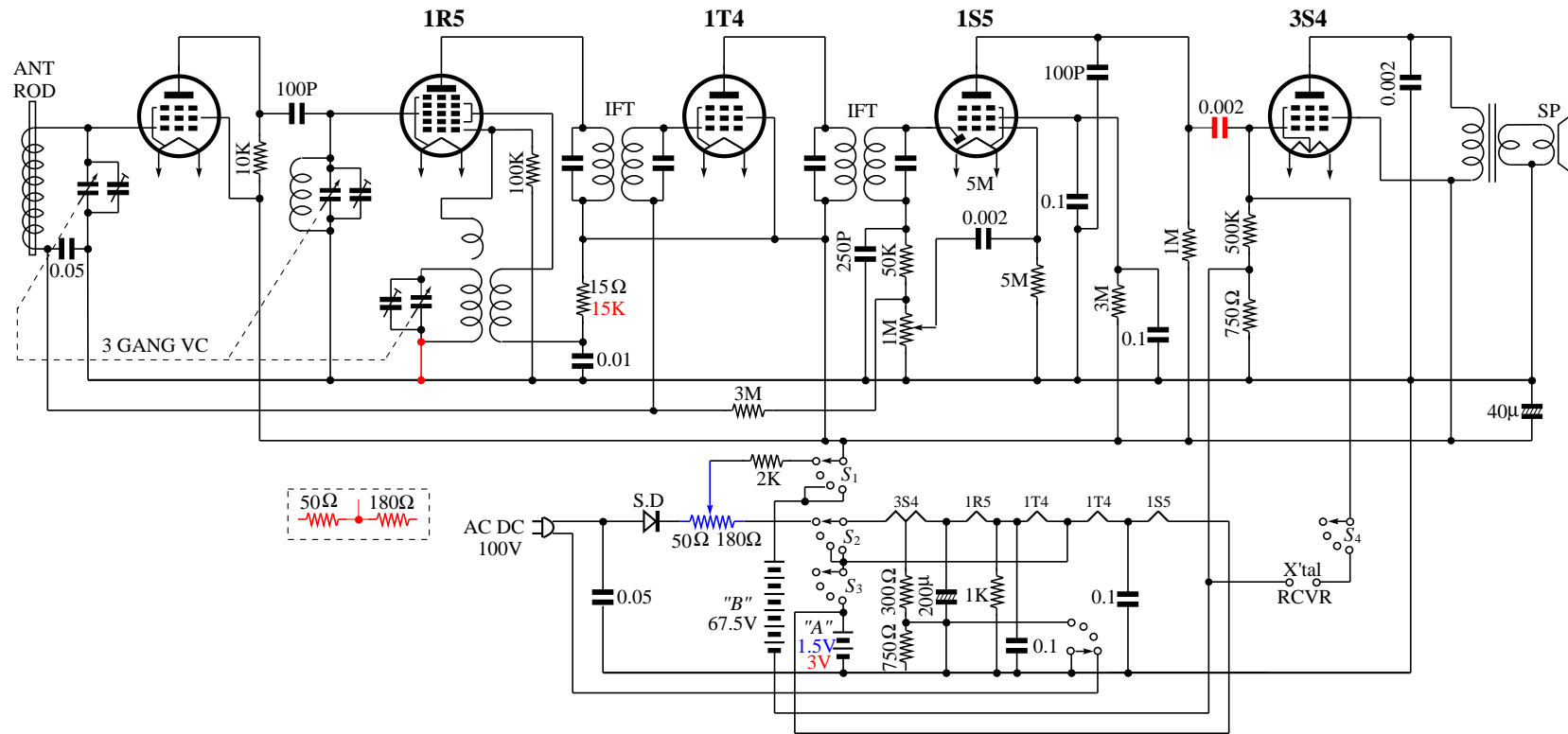


# スタンダード製(?)RF1段つき5球ポータブルスーパー受信機(1T4-1R5-1T4-1S5-3S4)

(無線と実験 1957/4)



- 発振コイルが原図ではアースされていないが、赤線のようにアースするのが正しいであろう。
- 1S5のプレートから3S4のG1へは、原図ではコンデンサーなしで直結されているが、直流分をカットするために赤で表示したコンデンサーが必要とおもわれる。容量は他機を参照した。
- “A”電池は原図では1.5Vとなっているが、赤字のように3Vの乾電池と思われる。
- 1S5のプレートにつながる抵抗の値が15Ωとなっているが、15KΩと思われる。
- 回路图中、セレン整流器(SDで表示)の右側の「青色」で画かれている可変抵抗器は、下の点線で囲われた「赤色」で画かれている抵抗直列回路が正しいと思われる。
- 原科正彦さんによる正しいと思われる回路は、<http://www5.ocn.ne.jp/~portable/home.files/RF5portable.gif> にアップされているので、参照してほしい。